

# 平成30年7月豪雨災害の被災地域における移動手段の確保

(中国運輸局交通政策部交通企画課)

平成30年7月豪雨災害では、各地域で鉄道や主要幹線道路等に大きな被害があり、通勤通学をはじめとした移動手段の確保を早急に図る必要が発生しました。

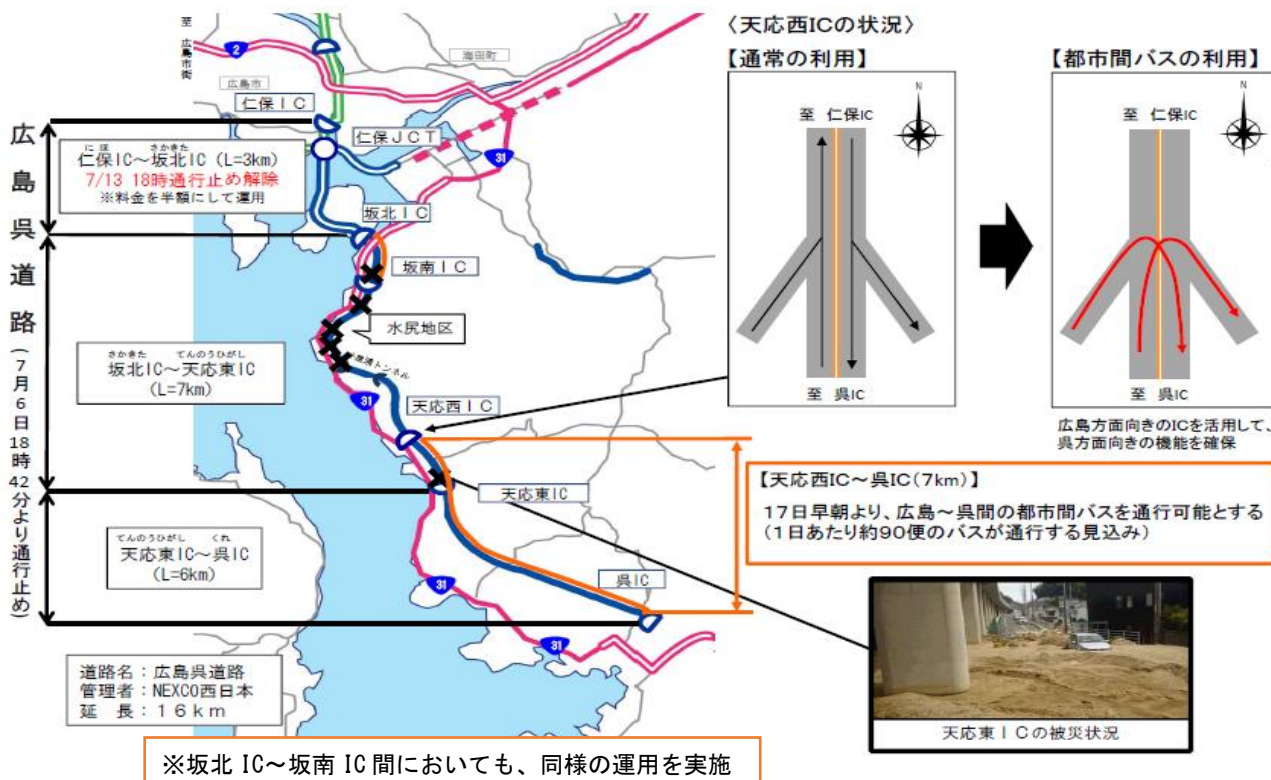
そのような中、特に被害が甚大であったJR呉線沿線地域での移動手段確保が緊急を要する課題であったことから、中国運輸局では広島県、呉市、関係機関等と連携して、早急な移動手段確保に向けた取り組みを進めてきました。

## ○呉市～広島市間での移動手段確保（災害時BRT）

広島呉道路やJR呉線に甚大な被災があり、国道31号線は早期に復旧したものの、交通渋滞が激しく、バス運行に通常の2～3倍の所要時間がかかる状況でした。そこで、広島県や関係機関と連携し、一般車両が通行止めとなっていた広島呉道路の運行可能区間（呉IC～天応西IC、坂南IC～坂北IC）においてバスの運行が可能となるよう措置し、7月17日から「災害時BRT」としてバスを運行させ、定時性と運行便数の確保を図りました。

また、8月9日からは、国道31号線の坂町区間（呉方面）にバス専用レーンを設置し、さらなる定時性の確保等を行っています。

＜広島呉道路における災害時BRTの運行＞



(国土交通省道路局 記者発表資料より)

### ＜参考＞

- <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/319260.pdf#search=%27E5%BA%83E5%B3%B6%E7%9C%8C%E7%81%BD%E5%AE%B3E6%99%82BRT%27> (広島県：災害時BRT)
- <http://www.cgr.mlit.go.jp/kisha/2018aug/180807-3top.pdf> (国土交通省中国地方整備局：国道31号線バス専用レーン)

## ○呉市広地区以東～呉市内への移動手段確保（キャットクルーズ）

JR呉線が豪雨災害により不通となり、また、広駅以東ではJR代行輸送バスの運行見通しが立たない状況の中、中国運輸局では、呉市、旅客船事業者と連携し、海上輸送での移動手段を確保しました。

### 《キャットクルーズ》

運航区間：川尻西港棧橋～呉中央棧橋

（安浦駅～安登駅～川尻西港棧橋は、連絡バスを運行）

実施期間：7月30日～

### 《キャットクルーズ2》

運航区間：仁方棧橋～呉中央棧橋

実施期間：8月7日～

※船が「女猫の瀬戸」を通過するため航路名を「キャットクルーズ」と命名



（国土交通省海事局 記者発表資料より）

### 《参考》

- ・ <https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/28/catcruise.html>（呉市：キャットクルーズ概要）
- ・ <https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/28/catcruise2.html>（呉市：キャットクルーズ2概要）